

創清会ニュース

創清会事務局
羽島市
江吉良町719-1

市民と考える街づくり元年

タウンミーティングや事業仕分け

市民第一主義で予算

松井市長

2期目をスタートさせた松井聡市長は、3月市議会で可決承認された総額207億円余の平成29年度一般会計予算に「羽島市に住ん

でよかった、市民のために明日の羽島を考える」など、5つの公約に基づいた新たな施策を盛り込み、「市民と考える街づくり元年」



3月市議会で所信を述べる松井聡市長

にしたいと意気込む。

昨秋の市長選で再選を果たした松井市長。

1期目の4年間は前市政が積み残した「負の行政」の解決に取り組み、ゴミ処理場建設問題に道筋をつけ、特別支援学校は開校、小中学校の耐震化を終え

た。

2期目初年度の今年、いよいよ松井市政が言い続けてきた市民第一主義・市民ファーストを具体化、元気の羽島市づくりや未来の羽島市を創る新しい施策をスタートさせる年となり、松井市長に寄せられた期待は大きい。松井市長に話を聞いた。

負担とサービスのバランスがこれまで以上に求められ、限られた経営資源を効率的に配分、選択と集中を図りつつ、優先順位を定めながら羽島市にとっての適正化を進めていくことが大切です。

「松井市政の下、羽島市は変わりつつありますが、課題も多いので、

1つに防災機能の強化が挙げられているが、市長 安心して快適に暮らせる街づくりへ防災対策は急務。川に挟まれた羽島市は河川や水路が多く、市が管理する600を超える橋は、災害時にそのすべてを通るようにすることは不可能。災害のときは、どの橋を優先するかといったことなどもタウンミーティングやワークショップなどで議論をして決めていきたい。ともかく市民の皆さんにはこれらの催しに積極的に参加してご意見をお聞かせいただきたい。

7月9日に総会開催

第1回創清会役員・支部長会

支部活動の強化を確認

今年第1回の創清会役員・支部長会が3月10日、羽島市内で開かれ、平成29年の活動方針・計画など話し合った。本年度総会を7月9日に不二羽島文化センターで開催すること

を決めた。

会議には豊島信征会長はじめ、創清会さん

下12支部の支部長・代表ら20人が出席した。

豊島会長は、冒頭のあいさつの中で昨秋の市長選挙で松井聡市長が

再選を果たしたことを振り返りつつ、「市民の皆さんの幅広い支持を受けて松井市政2期目がスタートを切った。市長の政治活動を支援する後援会の創清会としてさらに組織体制を強化、元気の羽島市、明るい羽島市づくりに取り組む松井市政を強くバックアップしていきたい」と語った。

公務を終えて駆けつ

けた松井聡市長は、改めて「市民第一主義、市民ファースト」で取り組むことを強調、新年度予算では公約実現にむけて先取り・実行、選択と集中などに重点を置いて編成したことを説明するとともに、タウンミーティング、事業仕分けに触れ、「市民と対話を深め市民ニーズに沿った市政運営を行っていき

たい」と語った。

この後、本年度の活動を協議、組織体制の強化、後援会員の拡大、支部ごとの市政報告会の開催などに引き続いて注力していくことを確認、7月9日に本年度総会開催を決めた。また会員のふれあい、親ばくを深めるため秋ごろに日帰りバスツアーを予定、準備を進めることになった。